

役場庁舎ボイラー修繕

670万円増額補正

10月議会臨時会が10月20日開催され、庁舎ボイラー修繕費を盛り込んだ一般会計補正予算(5号)について全員賛成で可決した。

質疑のあらまし

木質ボイラー設置の検討を
中村忠行議員 経済効果、林業振興、雇用の促進を図るため、公共施設の木質ボイラー設置コストの試算と導入の検討をしようか。

町長 林業の底上げと町のエネルギー活用のあり方として内部で検討したい。

性能検査を早くできないか

寒河江宏一議員 修繕が冬の時期になる前にボイラーの性能検査を早くすべきではなかったか。

総務課長 ボイラーの事前点検はしている。気候の関係もあり、9月30日に整備清掃を行ない10月4日に検査となった。

10月議会臨時会提出議案

議運番号	会計名	補正の主な内容	補正額(万円)	補正後(万円)
75号	一般会計補正予算(第5号)	役場庁舎ボイラー故障による修繕費	670	48億8270

常任委員会合同研修

11月15日~16日

常任委員会が所管する事項について識見を広め、議会に関するアンケートでの意見を町政に反映し、安全で安心して暮らすため防災力の向上と、道の駅を拠点とした6次産業化の推進を目的に岩手県山田町、雫石町を視察した。

山田町(震災復興の取り組みと防災力強化)

山田町は、5年前に発生した東北大地震により、最大で25mの津波に襲われ死者・行方不明者数825人と、岩手県沿岸部の自治体の中でもとりわけ大きな被害を受けた。



山田町震災復興研修(11/15)

な人的被害が発生した被災家屋の合計は、369世帯、全世帯の46.7%と甚大な被害に見舞われた。このため1940戸の応急仮設住宅を建設し対応してきた。その後、町営災害公営住宅等を計画に基づいて整備し、順次入居している。また、地域毎に土地利用を定め復興に取り組んでいる。山田町の復興ビジョンは、「二度と津波による犠牲者を出さない」を基本理念に、津波から命を守るまち

議会全員協議会

12月9日に議会全員協議会を開催し、介護保険制度において、29年度から介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)が創設されることになり、説明を受けた。また、最上広域で検討している看護師養成機関設置の件など協議をおこなった。概要は、次のとおり。

①平成29年度介護予防・日常生活支援事業の概要について

団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けて、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦のみの世帯、そして認知症高齢者が増加することが予想される。住み慣れた地域で生活できるよう地域全体で支え、高齢者の持つ能力を活かして要介護状態を予防することが重要であるため、要支援1と2の認定を受けている方が予防給付(介護保険料から給付)から町の事業に移行するもので事業の内容、利用の流れなどの説明を受けた。

②最上広域での看護師養成機関設置の件について
最上広域市町村圏事務組合では、専門員を配置して看護師養成機関の設置を検討している。これまで概要の説明を受けてきたが、財政負担(広域分担金)を伴うものであり、町議会としては、高校再編の動きを見極め看護学科設置を県へ要望することや、それに伴う施設を活用した民間での運用など、町村負担の少ない方法で検討すべきとする結論に至った。

③議会広報原稿に係る議事録の取扱いについて
議会、だよりについては、議事録の原稿を確認して誤った広報がされないよう留意している。これまで議事録の原稿を印刷して対応していたが、経費と労力の削減を図るため電子メールによる配信をすることにした。



山田町被害状況の説明

づくり、住民が主体となった地域づくりに取り組んでいる。一日も早い復興を祈念するとともに、安全なまちづくりについて重要性を改めて認識したところである。



雫石町加工施設(11/16)

雫石町(道の駅「あねっこ」を拠点とした6次産業化と観光)

岩手県の県都、盛岡市の西方16kmに位置し、人口17250人、議員数16名で基幹産業は、農業と観光を中心としている。道の駅「あねっこ」は、町中心部から秋田県よりの国道46号線に設置され、温泉



道の駅「あねっこ」での研修

交流室を備えた交流拠点施設とレストラン、特産品や農産物の直売所がある農村資源活用施設のほか農林水産物の加工所、体験施設が併設されており、東北の道の駅満足度第3位にランキングされている。産直販売は、100名の組合員で運営される年間1億2千万円ほどの売り上げがある。

教育現場調査

12月16日に総務文教常任委員が、町内の小学校3校と中学校の施設調査と学校長から教育現場の課題、児童・生徒の状況など説明を受けた。常任委員会で改善策などを検討し、12月26日に教育委員会と協議した。その主なものは次のとおり。

- ・夏場の暑さ対策として、部分的なエアコンの設置も含め財政計画に盛り込み年次計画を立てた整備の検討について
- ・児童・生徒の安全を確保するため各学校施設の修繕の対応について
- ・現場で働く町職員の環境について
- ・その他、登下校の安全対策等



有屋小学校での意見交換(12/16)

地方議会の課題について学ぶ

地方の人口減少が進む中、町村議会が抱える課題も大きくなっており、さらには、政務活動費の不正が全国的な問題となっている。このようなことから、全国町村議会議長会総務部長である三宅達也氏と山形県町村議会議長会武田裕樹氏を講師に地方議会としての対応や、住民から理解を得られる議員活動、議会活性化方策等について学び、議員としての活動や存在感のある議会のあり方について意を新たにしました。



これからの地方議会の課題は(11/21)

区長と議員の語る会

例年開催している「区長と議員の語る会」が農村環境改善センターで開催され、議員全員が出席して区長と意見交換を行った。松田順一区公連会長と柴田議長が挨拶をした後、議員全員が町の主要施策についての考えを述べ、活発な意見交換を行った。



恒例となっている語る会(12/1)